

スポーツ医・科学的見地から

・ジュニア期におけるスポーツ活動時間について、「休養日を少なくとも1週間に1～2日設けること」さらに「週当たりの活動時間の上限は16時間未満とすること」が望ましい。(公益財団法人 日本スポーツ協会)

スポーツ庁

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

学校法人 九州文化学園

【設置する学校に係る運動部活動の方針】

- ・「生徒のバランスのとれた生活と成長の確保」「スポーツ障害の予防」のほか、スポーツ医・科学的な必要性や生徒の発育・発達過程で最高のパフォーマンスの発揮や本人のやる気・意欲の向上のためにも、競技や種目の特性を踏まえつつ、運動部活動において適切な休養日及び活動時間を設定すること。
- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともにバランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的かつ効率的・効果的に取り組むこと。
- ・学校全体として運動部活動の指導・運営に係る体制を構築すること。

運動部活動に係る学校の実情等

【生徒や保護者、地域の実情】

遠距離生でスクールバス通学生が多く、部活動加入率は5割を超える程度であるが、バレーボール部・ソフトボール部・テニス部を始め、男女合わせて12の部が活動している。男子の部活動加入率は7割を超え、特に野球部員は地域との関わりも深い。今年度からサッカー部が加わり、更に充実した活動が期待できる。生徒・保護者は勿論、地域住民の方々からの温かい応援が大変励みになっている。

【施設等の使用状況】

*本校体育館

バレーボール部 男女バスケット部

*本校グラウンド

ソフトボール部 ハンドボール部

ソフトテニス部

*本校野球グラウンド

野球部

*その他(公共施設等)

弓道部 バドミントン部 テニス部

男子駅伝部 男子サッカー部

【強化指定等】

*バレーボール部 (全国大会優勝15回 準優勝11回 県高総体優勝31回)

*ソフトボール部 (全国大会準優勝 県高総体16連覇中)

*テニス部 (県高総体7連覇中)

本校の活動方針

【教育方針】

- ・現代社会を主体的に生きるため、広く国際的な視野に立ち、高い知性と豊かな情操の陶冶に努め、たくましい意志と健康な体を養い、さらに人間として大切な徳性と品格の香り高さを身につけさせようとする独特の人間教育を行う。

【運動部活動の基本的な考え】

- ・運動部活動は、学校教育の一環として実施する教育活動であり、生徒にとって豊かな学校生活を経験する有意義な活動である。さらに体力の向上や健康の増進にも極めて効果的な活動であることから、本校の教育方針に基づき、今後も特色ある教育活動として計画的に実施する。
- ・全職員の共通理解のもと、生徒のバランスのとれた生活と成長に配慮し、学校全体の教育活動として適切な運動部活動の運営を図っていく。

【休養日及び活動時間】

- ・学期中は週あたり1日以上を休養日とする。
- ・1日の活動時間は、原則として平日は2時間程度、学校の休業日(学期中の週末も含む)は3時間程度とする。但し、校長の承認のもと、週換算の活動時間が16時間を超えないことを目安として、最適な活動時間を設定することもできる。
- ・但し、上位大会進出部活動(団体もしくは個人)については、校長判断のもと、柔軟に対応する。その場合も内容を精査し、生徒への過剰負担とならないよう配慮する。

【活動について】

- ・各運動部は、「部活動方針」に準じた活動内容を計画し、実行していく。

【熱中症等の事故防止について】

- ・顧問・生徒ともに熱中症に対する知識を深め、気象庁等の情報や熱中症計等を活用して、事故の未然防止に努める。
- ・部活動中には適宜水分補給を行う等体調管理には十分気をつける。
- ・常に生徒の活動に気を配るとともに、職員研修等を通して応急処置等についての知識を深める。特に事故発生時の緊急連絡体制を整える。